

# 連続する組織拡大の成果を 線から面へ全職場で取り組もう!



会議は冒頭、「6月12日付けで東戸塚駅で2名の仲間が加入。58才の営業主任Aさんは、『一時

## 進み続ける拡大

6月13日、東日本本部は「各地方本部・地区本部組織部長会議」を開催した。一括和解以降、東日本本部では、青年労働者からシニア労働者に至るまで幅広い年齢層から58名の仲間が国労へ復帰・加入している。特に昨年の定期大会以降は毎月の加入が継続され、23名の拡大である。組織部長会議は、その流れを逃すことなく、点から線へと進んできた流れを、更に面にしていくために2009年度新規採用者対策の中間総括と拡大に向けた今後の職場での取り組みについて意思統一するために行われた。今号は、①組織部長会議、②秋田地本組織拡大集会、③長野地本新入組員歓迎集会、④浦和電車区事件について報告する。

国労を離れたけれども、最後は国労でと考える。帰することを決意した。』47才のBさんは、『先輩の決意に自分も続こうと思った。』と復帰にあたって話した。更に、秋田地本から、秋田テレフォンセンターの仲間が15日付けで国労に加入した。新規採用者獲得の取り組みが、これまでつながりを持ってきた仲間の拡大にも結びついていくことが明らかになった。』と3名の仲間の拡大という嬉しい知らせを組織部長が報告し始まった。

## 3年連続で新採獲得

各地方・地区本部からの報告では、「今年の新規採用者の状況は、国労が先に接触を図り加入を促すことが出来れば加入に結びつく」、更に「新採者の扱いについて公平・公正にするように、労組説明会の実施やアドバイザーの指定など各支社へ申し入れを行うと同時に、配属される分会も現場長に対し同内容を要請してきた。その結果、説明会を認めた職場が昨年より拡大」し、全体的に行動

## 課題も明らかに

一方では、今後の課題も明らかになり、「取り組みが分会役員だけのもの

## 情勢を生かし全体で取り組もう

まだまだ支社や現場長によつての対応の違いや、独身寮の対応など問題は多くあるものの食事

国労運動の継承・発展に向け、国労全体で取り組みを強化しよう!



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 伊藤秀樹  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 685 定価 20円

2009年  
6月 26日

### 国労は一人の困難を 皆で解決

第1回組織拡大標語  
最優秀作品

## 第2回組織拡大標語募集

貴方の組織拡大に向けた「思い・決意」をスローガンに!



国労はあなたを歓迎します

もう一人の  
仲間を国労に

### 応募作品

組織拡大運動のさらなる高揚を目的としたスローガン的なもの

- ①他労組組合員等に呼びかける組織拡大標語
  - ②国労内部を対象とした組織活性化に向けた組織拡大標語
- 最優秀作品1本、優秀作品2本、入選若干数

### 応募方法

メールで、アドレスは nru.east1@apost.plala.or.jp  
パソコンの方は、ホームページからも送信できます。

### 応募期間

8月15日から8月30日まで

### 作品発表

第23回東日本本部定期大会  
(国労東日本本部執行委員会にて選考します。)

の広がりを見せている事を全体で確認した。

とりわけ長野駅では国労、ユニオン、ジェイアール労組(東労組は共同行動を拒否)3組合共同で説明会の実施を会社に求め、会社側が時間外に行うことを認め、説明会に参加した新採者の一人が国労に加入してくれた。

それにより研修センター入所中の特定労組加入が無くなって以降、3年連続で新規採用者の国労加入が実現したと具体的な成果を報告した。

また、58名の拡大が示す通り、仕事を通して国労が職場の中心になり職場全体の要求を取り上げながら運動を進めてきた結果である。

引き続き各地方・地区本部でも新採対策を継続しながら、更なる拡大をめざしていくための取り組みを意思統一し、会議は閉会した。

引続き各地方・地区本部でも新採対策を継続しながら、更なる拡大をめざしていくための取り組みを意思統一し、会議は閉会した。

また、58名の拡大が示す通り、仕事を通して国労が職場の中心になり職場全体の要求を取り上げながら運動を進めてきた結果である。

引き続き各地方・地区本部でも新採対策を継続しながら、更なる拡大をめざしていくための取り組みを意思統一し、会議は閉会した。

また、58名の拡大が示す通り、仕事を通して国労が職場の中心になり職場全体の要求を取り上げながら運動を進めてきた結果である。

引き続き各地方・地区本部でも新採対策を継続しながら、更なる拡大をめざしていくための取り組みを意思統一し、会議は閉会した。

また、58名の拡大が示す通り、仕事を通して国労が職場の中心になり職場全体の要求を取り上げながら運動を進めてきた結果である。



# 国労でしか

## 出来ない事をしたい

### 組織拡大学習交流会を開催

【国労秋田地方本部発】



6月6日、秋田市・国労会館において約30名が参加し、学習交流会が開催された。

第一部は、瀬下委員長から出向職場の取組みと合わせた開会挨拶、渡邊書記長から組織拡大運動の報告と課題が提起され、また、東日本本部から派遣された四人の青年から「青年部の現状と、今、青年に対してど

んな取組みをしなければならぬか？自らの国労加入のきっかけ」も含め一時間に渡る講演を受けた。因泥青年部長は「私の任期はもう少しだが、今年の入社式では国労チラシ配布行動でこれまでにない受け取りだった。職場配属となったこれから勝負、遠慮してはダメ」。木村特別執行委員は「東日本の和解が会社の姿勢を変えつつある。要求の多数派から組織の多数派へ、全体が声を掛け合うことが大事」。彦田常任からは「良い親父ではダメ、自分を守ってもらいたくない気持ちで加入したのでない、国労でしかできないことをしたい気持ちを大切に」。阿部常任は「秋田の出身、国労のレクへ東労組の若い組合員が多く参加している。積極的に青年に働きかけを」と話した。

# 歓迎会を盛大に開催 昨年引き続き国労加入!

【長野地方本部発】



各支部からの報告では、駅職場での組合説明会の取組み、顔写真入りのニュース発行や、出向職場への取組みと今後の労働組合のあり方論も出された。

た飲み物は殆どなくなる程の二時間の交流、最後に因泥青年部長の「団結ガンバロー」で終了した。おじさん達は青年に元気をもらい、青年達は秋田のおじさん達の酒の強さに圧倒された交流会となった。

長野県で国労加入した、坪井大地君の歓迎会が6月9日、長野市内で開催された。歓迎会は、東北信支部の主催で行われ、支部執行委員、分会代表、青年部、地区協、地本執行委員が出席した。また、東日本本部松井正義副委員長をはじめ来賓の方々にも遠路参加をいただいた。

開会にあたり、東北信支部小松才之委員長から、「坪井君の加入には、分会、支部、地区、上部機関の支えに拠るところが大きい。加入には至らないが、各分会も昨年を上回る取組みができ、更なる組織拡大への大きな足がかりとなった」とのあいさつを受けた。長野運輸分会神津貞人分会長は、「2年連続の新採加入

だが、どこの職場でも加入条件は整ってきている。坪井君がしっかり仕事を覚えることができる環境作りを全力をあげたい」と決意を述べた。坪井君からは「今は、先輩から知識・技術を吸収している段階。色々な縁があつて国労加入となりましたが、これからもよろしく」と、加入に至る経緯と決意が語られた。

# 浦和電車区脱退 退職強要事件で 東京高裁が東労組に有罪判決!

6月5日、2000年12月から翌年7月にかけて行われたJR浦和電車区脱退・退職強要事件の控訴審判決公判が東京高裁で開かれた。報道によると、「執行猶予付き判決を言い渡した1審東京地裁判決を支持し、弁護側、検察側双方の控訴を棄却し、『集団で男性に差し迫った恐怖を与え、男性の自由と名誉を侵害した』と、1審同様に強要行為があつたことを認めた。さらに、『7人は組合の方針のもとに共謀し、元男性運転士を繰り返し脅迫。組合から脱退させた。』としている。

一方、当該のJR東労組は即日上诉状とともに「抗議声明」を渡し、判決を「国策裁判」と抗議し、「組合活動上の目的の正当性を認めつつも全組合員を進める職場活動を否定した。」私たちは、反動判決を口実とした警察・検察・裁判所と一体となったJR連合、島田一味、一部会社経営陣、一部マスコミなどからの悪辣な組織破壊攻撃に抗して闘いをさらに進める。」と述べている。

改めて言うまでもなく、いかなる暴力行為も労働組合運動とは無縁であり、今回の「脱退・退職強要事件」は、1994年に発生した、東労組を脱退・国労加入した仲間への東労組分会による暴力事件、いわゆる東京電車区事件(すでに損害賠償支払い済)と同種の事件として映ってしまう。

繰り返しになるが労働組合運動と暴力は無縁である。国労東日本本部は仲間を大切に「明るく・安心して」働ける職場づくり向け全力を尽くそう!

がん予防・検診から治療まで、どこでも支援!

ご契約は満80歳まで

健康支援金モプラス! 新登場/ 通院も入院も同額保障に!

がんの保障 病気・ケガの保障

新健康応援団 MAX

アベニール 株式会社

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

☎03-3437-6810 ☎03-3437-6822

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

東京第三営業本部 第三支社

〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

Tel.03-3344-1889 Fax.03-3344-4036

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

◎詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。